

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ガーデンコート矢切
(ユニット名)	ユニット 2
所在地 (県・市町村名)	千葉県松戸市下矢切99-10
記入者名 (管理者)	畠山 桂介
記入日	平成 21 年 2 月 10 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	お客様の安心と安全を一番に考え運営理念に取り組んでおります。	左記を継続して参ります。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	グループホーム各フロアに運営理念を掲示し、職員の目につくようにしてあります。	新規スタッフにもオリエンテーションの際理念を説明し、理解した上で業務に取り組むよう徹底しております。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	地区の民生委員様や近隣の学校などにも見学、説明会など開催しております。	左記を継続して参ります。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	年間行事を通じた、地域との交流や親しみやすい貼り紙や看板を大きく設置し、気軽に立ち寄れるような雰囲気作りをしております。	散歩などの時、挨拶を必ずするように心掛けていますので、今後も継続するとともに、新規のスタッフにも伝達して参ります。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	行事を通じて、地域との交流はありますが、老人会・自治会などの地域活動には参加は実現できていません。	○ どのようにすれば、地域活動に参加できるようになるかを考え段取りを組み、具体化できるよう進めて行きたいと考えております。また、地元のお客様のご家族の方からも情報を頂き、ネットワーク作りにも努めたく思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	「介護相談承ります」のポスターを掲示しており、実際にお電話等で、ご相談して頂くこともあります。		左記を継続して参ります。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営推進会議にて取り入れ、スタッフにはスタッフミーティング時に伝達し、改善点等、議論しております。		左記を継続して参ります。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議におきましては、問題点や取り組み等を議題としてサービス向上に努めております。		左記を継続して参ります。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター様、地区在宅介護支援センターさまと連携を図り、サービス向上に努めております。		左記を継続していき、且つ昨今の感染症等防止対策とし、保健所等との連携や同業の事業所との連携も図っていきます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	スタッフへの理解は薄い状況です。但し、制度については現在ご利用されている方は、いらっしゃいません。	○	制度をしっかり学んだ上、スタッフミーティング等にてスタッフに理解を深めていきたいと考えております。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルをもとに、ミーティング及び、研修などで理解を深め、防止に努めております。		左記を継続して参ります。また、松戸市様より、虐待防止の為のチェック表が配布されておりますので、各スタッフ等実施したく計画しております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は、契約書及び、重要事項説明書を管理者と地域統括責任者により、説明をおこなっております。ご家族等にはご理解とご納得頂けるまで時間をかけてご説明させて頂いております。</p>	<p>左記を継続して参ります。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者、スタッフ等直接お伺いさせて頂いております。ご意見箱を設置しておりますが、現在投函のほうは、ございません。</p>	<p>○</p> <p>管理者、職員からご家族の方にご意見をお聞きしていることもございますが、今後更に話し合いの機会を増やしていきたいと考えております。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1～2回程度、計画作成担当者より電話にてご報告させて頂いております。又、月に1回ガーデンコート通信としまして、ご家族へ送付しております。</p>	<p>左記を継続して参ります。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者、職員が直接お伺いしております。ご意見箱の設置もあります。外部へは、重要事項説明書に、「松戸市役所介護給付担当室」の連絡先を明記しております。</p>	<p>○</p> <p>管理者、職員からご家族の方にご意見をお聞きしている機会を増やし、更に、ご意見しやすい、風通しのよい環境づくりをしていきたいと考えております。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りやスタッフミーティングなどで機会を設けております。</p>	<p>左記を継続して参ります。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>日勤3交替制になっており、柔軟な対応の出来るよう努めております。</p>	<p>左記を継続して参ります。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>人事異動等があった場合には、お客様、ご家族等に誠意をもって事情をご説明しております。又、離職を最小限におさえられるよう、3ヶ月に一度管理者による個人面談を行っております。</p>	<p>左記を継続して参ります。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	年間研修計画に基づき実施しております。身体介護などは、実際に現場での指導や書面で対応方法等を記載し、各スタッフに配布して徹底しております。	○	左記を継続して参ります。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	松戸市グループホーム連絡会を通して交流をしております。相互訪問等はしておりませんが、社内での他拠点との相互訪問を取り入れサービス向上に取り組んでおります。	○	同業他社との係わりを更に、深め相互訪問などを行なっていきたいと考えております。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	忘年会・新年会等親睦会を開催し、皆でストレス解消しております。又、代表も定期的に現場視察を行い、環境づくりに取り組んでおります。		左記を継続して参ります。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	得手不得手を考慮し、やる気のでるようなシフト作成を心掛けております。		左記を継続して参ります。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	出来る限りご本人様とお話をして信頼関係を構築出来る様心掛けております。		左記を継続して参ります。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ご家族が相談に来られることが多いので、じっくり時間を掛けてお聞きするよう努めております。		左記を継続して参ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お問い合わせから本人面談までニーズを把握する様に努めております。		左記を継続して参ります。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ニーズに即した対応をしております。「体験入居」や本人面談を重ねて、少しずつ馴染めるようにしております。		左記を継続して参ります。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	余暇(歌・散歩)を通じてお客様とのコミュニケーションは充分とれております。		左記を継続して参ります。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事開催時、来訪して頂いた際など、スタッフを交えて皆でコミュニケーションがとれています。		左記を継続して参ります。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	中立の立場のもと、良い関係が保てております。		左記を継続して参ります。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの物を居室で使用して頂いております。ご親戚やご友人もよく来訪されております。		左記を継続して参ります。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う方々をお散歩に一緒にお連れしたり、食堂の席順など考えておこなっております。		左記を継続して参ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も定期的にご連絡させて頂き、お付き合いを継続するよう心掛けております。		左記を継続して参ります。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様、ご家族様の意向を第一に援助計画を作成しております。		左記を継続して参ります。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	早い段階で計画作成担当者がモニタリングの後書面作成し、それを現場に伝達することで、職員全体が把握できるようにつとめております。		左記を継続して参ります。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員によるご利用者の様子観察を計画作成担当者が報告を受けて把握するよう努めております。状況に応じて計画作成担当者が直後様子観察しております。		左記を継続して参ります。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現場からのフィードバックを取り入れご家族に提案したり、援助計画に反映しております。		お客様・ご家族様・スタッフの連携を更に深めていきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間ごとに計画作成担当者が見直しを行い現場に伝達しております。		現場にも更にモニタリングを指導し、現場に即した援助計画にしたいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様の個人日誌に記録し、申し送り時に情報共有しております。尚、計画作成担当者も申し送りに参加し援助計画に反映させております。		左記を継続して参ります。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々のご要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る限りご要望に対して、対応しております。ご家族には、日頃よりご要望をご連絡して頂ける様、声掛け、促しております。例えば、ご家族より外泊・外出の希望があれば状況が許せば積極的に実施しております。		左記を継続して参ります。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域包括支援センター様、民生委員様の利用に対するご紹介などを頂いております。また、万が一に備え消防、警察には、事前に打ち合わせをし、地域の中で事故防止に努めるようにしています。	○	今後は、前向きなサービス展開として、各関係機関との連携を図りたく思います。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他サービスとの連携はとれており、紹介・相談等随時行っております。ご意向なども考慮して対応させていただいております。		左記を継続して参ります。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にご参加して頂き、連携を図っております。		左記を継続して参ります。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	管理者・計画作成担当者が医療連携機関との窓口になっております。お客様・ご家族様のご希望があれば、ご希望された病院へ受診できるよう配慮させて頂いております。		左記を継続して参ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医の週1回の訪問診療時に、現場の意見等をまとめ、日常のご様子をお伝えしております。		左記を継続して参ります。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	現状は、提携医療機関との連携を中心に考えております。		今後は、パルスオキシメーターの導入を検討しており、それにより、医療連携を更に強化したいと思います。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	各医療機関の医療相談員様との関係を構築し、お客様の情報交換をおこない、モニタリングとして病院に行き相談等に努めます。		左記を継続して参ります。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階で医療、ご家族と話し合い、方向性を共有しております。	○	左記を継続及びに、方向性を全員で共有し、職員全員で共有し、職員全員が理解できる環境を作っていきます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所ではできない部分も多くあります。医療、ご家族と話し合い出来ない部分を協力していただいています。	○	今後増えてくる課題ですので、ご家族、医療と密接な関係を取り、事業所側では、管理者、計画作成担当者、現場で連携し、できること、できないことを見極めていきます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設へ移る際などは、必ず関係者と同じで、十分に話し合いを行い情報提供を行っていきます。		左記を継続していきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛けの基本として、相手を尊重するというのを、心掛けております。尚、態度も大柄にならぬよう常日頃より心がけ指導、徹底しております。	○ 新規スタッフに対しても、オリエンテーションを行い、その際に左記事項を指導し、徹底しております。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人様の意思を尊重しております。但し無理な事柄などを希望された場合、納得のいくまで説明をしていくよう心がけております。	○ 上記にもありますが、新規スタッフにも、オリエンテーションを用いて説明していきます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様を尊重し、行っていますが、無理な場合は誠意を持って接しております。	○ 自立され、ご自分で決断される方もおおくいらっしゃいますので、尊重して接しております。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご自分で散発に行けない方のために訪問理容を利用させていただいております。	○ 要望があった際、身だしなみ用品等おこずかいの中から購入しています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を楽しみ、簡単な家事等、皆で取り組んでいます。	左記を継続していきます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きな物をおこずかいの中から購入しています。またスタッフと一緒に買物に出ることも楽しみになっております。	左記を継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間をみながらトイレ誘導を行っています。排泄パターンは個人日誌等に記帳し把握しています。	○	排便状況は毎日チェックし、未排便が続いた際は、医療と連携をとり下剤等で調節しています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週間スケジュールはありますが、本人が希望した際は、ご希望にそえるようになっております。また身体等の低下が著しい方については、訪問入浴等を用意しております。本人の拒否、ドクターからの中止の指示がない限り入浴は可能です。		左記を継続していきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の休息パターンを把握し、昼寝をされる方は、誘導も行ってまいります。また、安心して寝ていただけるような、環境整備もしております。		左記を継続していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自由に過ごされるような環境を提供しております。簡単な家事等で役割をしていただいております。	○	今後も、生活歴や趣味などをモニタリングし、本人様をよくしり、その人にあった生活を提供していただければと考えています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方には小額の現金を管理して頂き、買物を支援しております。管理の難しい方に関しましてはこちらでお預かり金という形で管理させていただいております。		左記を継続していきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝の申し送り時、散歩予定をたて、お客様のご要望を聞き、外出の機会を増やしていきたいと考えております。	○	1人でも多くの利用者様に外出をしていただきたいと考えております。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族に協力して頂き、外出を支援しております。	○	継続し取り組みたいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望をされる利用者様には、ご本人自ら事務所内にて電話していただいています。また手紙も自由にやりとりしていただいています。但し、他のお客様との関係上、携帯電話については事務所にてお預りさせていただいております。		左記を継続していきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来ていただけるよう案内しております。実際に様々な方が訪問してくださっています。		左記を継続していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は基本的に行ってはいけない行為だということを、職員全体に啓蒙しております。また、職員も理解をして気をつけて対応方法を検討したり、実践したりしております。	○	左記を継続していきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	カギをかけないケアを目指しておりますが、ご本人の意志によるものはその限りにはございません。	○	左記を継続していきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	医療的な観察等が必要な場合はを除き、プライバシーを重視し、さりげなく所在や様子を観察、把握するように心掛けています。		左記を継続していきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管には充分注意しておりますが、ご利用者様各々の状態に応じて、洗剤、はさみ、包丁等は、見守りにて使用していただいております。	○	左記を継続していきます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現場にマニュアルを設置し、常に対応できるようスタッフも日頃目を通して心掛けております。且つ、チェック機能も徹底して行っています。		左記を継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訓練などをミーティング等で行なっております。	○	応急手当など、今後研修計画に入れて、松戸市消防局に依頼していく予定です。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	最寄の交番、駅にも協力要請しています。	○	左記事項を実現していく方向で考えております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご家族とは頻繁に連絡をとり、現状起きていること、予測されるリスクなども、ご家族とも検討できる関係を、持ち続けております。		左記を継続していきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のモニタリングを、現場、計画作成者で行い、細かい変化でも、医療との連携をとって行きます。		左記を継続していきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は事務所にて管理しています。服薬変更等あった際には、必ずご家族に連絡しています。	○	誤薬等に細心の注意を払い、薬管理を行なうよう徹底していきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給は、日に1200ccを行い、散歩等、生活の面でもチェックしています。		左記を継続していきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は必ず声掛けをし、口腔ケアを行なっていただいています。		左記を継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量はその都度チェックし、記録しております。	左記を継続していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいの徹底をしています。館内、塩素、エタノールによる、消毒の徹底を行っています。	○ 感染症マニュアルを設置し、スタッフの理解を深めています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁等、毎日消毒し、賞味期限切れのものは使用せず、キッチンの清潔保持にも努めております。	左記を継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに花を植えたり、玄関内にポスターを貼り、雰囲気作りをしています。	左記を継続していきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、季節感を出すものを飾っております。	左記を継続していきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方、同士はリビングで過ごされたり、一人を求める利用者様は居室にて過ごされています。	○ 更に和みのある、スペース作りをしたいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様が今まで使っていたものを使用し、馴染みのあるものでまとめてあります。		左記を継続していきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温チェックはもちろんですが、湿度において、濡れタオルを掛けたりなどして乾燥防止に努めています。		左記を継続していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内に手すりを設置しています。完全バリアフリーとなっております。カーテンも防災カーテンを使用しており、安全面は問題ないと考えております。	○	今後もお客様に合わせた、活動しやすい、レイアウトを考えていきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立支援に基づき、1人、1人が出来る事を考え、役割分担などで自立を促しております。		左記を継続していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花の手入れ、玄関の掃除などを行っています。		左記を継続していきます。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

希望されるご家族様には、外出の機会等を提供することにより、「グループホームの一員としての自分」としてだけではなく、「自分の家族の一員である」という自覚を持ってもらうことにより、いつまでも健康で充実感のある生活を送っていただけるよう努めております。そのために当社での施設内面談時間や外出時間を朝8：00～夜22：00としております。